

日本財団「難病の子どもと家族を支えるプログラム」について

全国25万以上といわれる難病の子どもとその家族が孤立しない地域づくりを目指し、「医療」「福祉」「教育」「フィランソロピー」の4領域について、「医療的ケアが必要な小児に対応する訪問看護研修」「ICTを活用した退院・復学支援事業」「外出が困難な子どもと家族向け相談カーによる訪問」等、毎年30以上のモデルとなる事業を全国規模で展開。また、子ども達を安心して預けることのできる地域連携ハブ拠点の整備を進めており、「クリニックカフェ」もその1拠点です。日本財団では、2020年までに「クリニックカフェ」のような拠点を全国に30拠点整備する予定です。

※【参考】2018年4月、5月に開所予定の拠点

- ◆4月1日（日）一般社団法人 Burano（茨城県古河市）
- ◆4月15日（日）社会福祉法人 FLAT（千葉県白井市）
- ◆4月21日（土）認定NPO法人 パンダハウス（福島県福島市）
- ◆5月6日（日）NPO法人 くるみ（富山県新高岡市）

「クリニックカフェ」基本情報 【営業時間】9時～22時（年中無休）

「クリニックカフェ」は、社会福祉法人フラットが運営する、医療的ケアに対応する児童発達支援の場と精神障害者・知的障害者が働くカフェ&レストランを併設する拠点です。カフェで働く店員には看護師、保育士等の有資格者がおり、子育てについての相談などが気軽に行えます。飲食店の隣には母子関係のサロン等が開催されていたり、地域で不足しているフリースペースも兼ねています。その隣の部屋には地域の子どもたちの学習スペースもあり、昼間は資格取得を目指す社会人や放課後は子どもたちと隣のフリースペースと連動した使い方ができ、多様な人が出入りする仕組みになっています。



左上：2Fカフェ個室、16名まで団体予約可。他に8人対応の個室も有
 左下：親子カフェスペース、0、1歳が寝たままでも安心できるゴロゴロカフェ
 中央左：豊富なメニュー、フードコーディネータ提案、全76品目
 中央右：1F飲食スペース 36席 wifi、電源有
 右上：無料学習スペース 地域の学生、子ども、社会人への解放スペース
 右下：サロンスペース レンタル可能でマイク、プロジェクター、イス、テーブル完備

※画像データ提供については、お問い合わせ先までご連絡ください。